

まちづくり懇談会での市民からの意見・要望について (河川に関わる事項の抜粋)

アンダーライン：第1回懇談会と同様の意見
波ライン：第1回懇談会以外の意見

●H19 年度懇談事項

【加賀野】

◇中津川の遊歩道について

現在、中津川橋上流右岸より、毘沙門橋に至る遊歩道と山賀橋下流左岸より東大橋-文化橋下流間、及び富士見橋上流地点から上ノ橋上流間の遊歩道は、市民の利用が多く、かつ、川と河川敷の景観をひき立てて、外来者にも盛岡の印象を深く与えております。

この中津川兩岸の遊歩道を更に増設すると共に両歩道の接合を図ることにより、川と市民との関わりを密にし、よりいっそう中津川の景観を豊かにするものと考え、検討をお願いいたします。

●H19 年度要望事項

【杜陵】

○御厩橋～明治橋間の馬場町内の杉土手通り並木の伐採及び枝打ちについて

馬場町 10-10～10-1 の御厩橋に至る旧杉土手通沿線にヒマラヤシーダが並木として大きく育っているが、近年ますます大きく枝を張り、またこの木の特徴である毎日の落葉は、沿線の宅地及び道路に落ち続けるため、その清掃に相当の労力が強いられ、風の吹きようでは家屋の中にも吹き込む状況にある。ついては、地域住民では枝打ちのできない状態のヒマラヤシーダの枝打ちを早急に実施していただきたい。また御厩橋の手前の馬場町 9 地内の(有)平喜産業前のヒマラヤシーダを伐採して下さるようお願いしたい。

○鮭の遡上について

県都盛岡市のだ真ん中で鮭の産卵が見られるということは、正に驚異と言って良い。ある観光客の一団はこれを見て、やらせだと叫んでいたのを思い出す。生まれて数ヶ月で北洋に旅立ち、厳しい確率を潜り抜け、石巻から 150 キロ遡り故郷盛岡にたどり着き、子孫を生んで一生を終る。その死は崇高そのものと言って良いだろう。これを醜いなどと言う人のいることは恥ずかしい限りである。

○植生について

主として、柳の種類、くるみ、草の種類は無数と言って良いだろう。豊かな緑が市民の目を楽しませてくれている。くるみは、縄文以前から人との関わりが深く、良性の脂肪は先人たちの健康に寄与した。管理された美をよしとするか、自然の状態をよしとなすかは、人それぞれの美意識に関わることであろう。また柳を刈ることによって小鳥たちの生態にも関係することなので慎重さが望まれる。

最近アイオン・キャサリン台風等で失われた、忘れな草の回復に努力されている人達の労を多としたい。できるならば同台風で死滅した河鹿蛙の声も聞きたいものである。

○河川敷の利用について

市の中央にある河川敷は得がたい広場を提供している。チャグチャグ馬コ、納涼行事、秋の収穫祭の行事等にありがたい存在である。

今後とも管理に万全を期していただきたい。管理を国から市に移管できれば便利であろう。

○その他

中津川遊歩道は、盛岡城跡公園、杜陵小学校も至近距離にあり、豊かな自然観察の教育の場としてまた市民の健康保全の散策路として管理をお願いしたい。

●H20 年度懇談事項

【桜 城】

行動できる防災計画と地域との取り組み

○各町内における現状把握と今後に向けて

桜城地区防災懇談会（平成 20 年 9 月 18 日）の報告

- ・当地区で予想される災害（水害）が実際に発生したと仮定して、その発生場所や規模、市当局が行う災害対策や当地域での自主防災組織に期待する活動内容などを時系列にまとめて説明してほしい。

・提案

緊急一時避難について、2～3 日程度の避難（水害）の場合

地域の施設を避難先として取り決めを行う。（具体的にはマンション・鉄筋アパート・ビルが対象：水害での被害が予想される世帯は約 50 世帯、避難先の対象は 7～8 棟）

管理会社、管理組合と町内会の取り決めが必要ではないか。（行政の後押しが必要）

【大慈寺】

○北上川左岸の整備について

北上川左岸は、右岸に比べて整備が遅れており、特に柳をはじめとする樹木が繁茂し 10 メートルに達しているものもあるようだ。このため、今時の季節になるとアメリカシロヒトリが大発生し、人家（特に神子田地区）まで飛翔してくる。木の枝の伐採を要望した国（国土交通省）では、予算がないと取り合ってくれない。地元で伐採すれば運搬はするというのが、そのような機具は町内にはないし、人手も足りない。本来は懇談事項とすることではないが、緊急な事態なので懇談事項とした。

右岸と同じように公園などとして整備できないか。

増水したときに左岸に水が多く流れるような地形のためか、水が引いた後は水路が十分確保されていないので、そのまま滞留し、ボウフラの発生の原因となっている。水路の確保と整地を市も国に依存するだけでなく市民の安全の立場から整備するよう国と協議して欲しい。

●H21 年度懇談事項

【杜 陵】

○中津川及び流域の自然景観保全について

中津川、河川敷及びその流域には豊かな自然が残され貴重な景観が形成されています。

そのめぐみを一方的に享受している我々は、もっと積極的にその保全や造成につとめる必要があると思います。

○課題の内容

河川敷の草木の整理、ことに柳の若木は出水時に流出し、水害を増加させたり、枝・幹に大量のゴミを付けて景観を悪くしています。適宜整理して河川内樹木として景観づくりに利用してはどうか。

近年、一部に外来植物が急に繁茂しています。

中津川の流れと流域は、それぞれの地域で、近くの街並みや山並みと相まって、その場所の特色を表す景観を形成しており、これを特色を持つ名所とし、観光のポイントとして活かしていきたい。

河川敷の中には、広い土地がある。冠水の頻度が少ない場所は、花木・景観木の植栽を行い、市民の散策にも役立てたい。

○懇談のポイント

これらのことを話し合う中で、次のことを具体的な取り組み事項として、実施を図ってきたい。

- ・河川管理者と市・地域で共通の認識を持つにはどうすればよいか。
- ・この運動を支える市民の輪をつくることはできるか。
- ・いま活動している同じ目的をもつ団体との連携活動を行うにはどんなすすめ方がよいか。

【山 岸】

○中津川河川敷の有効活用について

- ① 中津川橋から平安閣までの中津川右岸の遊歩道を整備してほしい。
- ② 中津川河川敷グラウンドにトイレを設置してほしい。
- ③ 中津川護岸等の補強強化を行ってほしい。
- ④ 浅岸橋から上流の中洲が年々大きくなっており、降雨増水の際、流水上の障害となっていること等から、これ以上中洲が拡大しないような対策を講じられたい。
- ⑤ 山賀橋は昭和9年に建設された、市管理の橋で最も古い橋とされています。ケタの鉄筋などの損傷やさびがひどく早期の架け替えをお願いしたい。

【杜 陵】

下の橋と毘沙門橋（一方通行道路）間の歩道確保を要望します。

中津川側は歩道と車道の分離が確保されていますが、反対側の子供たちは近くに横断歩道がないため、住宅側を通学していますが、歩道部分が狭く子供たちは、車道部分にはみ出して通学しています。（非常に危険です。）

お願いは、車道区分線（車両通行帯）を狭め、歩道通行部分を広げることを要望します。（できれば色分けを要望）

毘沙門橋の改修と水銀灯の補修を要望します。

橋桁と欄干及び橋上水銀灯の柱が錆びて腐食しており、景観上好ましくないので、改修及び補修を要望します。

【城 南】

中津川河畔、与の字橋～上の橋の道路整備をお願いしたい。

※中の橋～与の字橋、東北電力の通りと同じように整備していただきたい。

野の花美術館の場所を尋ねる来訪者が多い。案内板の設置を望む。

【加賀野】

○中津川左岸山賀橋上流の改修整備について

鮭が遡上し市民並びに地域住民の安らぎの散策路となっている中津川左岸及び中洲には雑草、灌木が生茂り、又浮遊物など景観のうえからも環境衛生上の観点からも問題となっております。

この地域の方々が土手に花を植え、コスモスロードと名づけて一応景観は保っておりますが、護岸、遊歩道の取り付け整備について特段の配慮を講ぜられるよう要望いたします。

○山賀橋下流、中津川原左岸遊歩道の早期実現

山賀橋－清和荘間の市道は幅員が狭く、歩行者は交通事故の危険にさらされている。通勤通学歩行者等の安全確保のため、早期の遊歩道の設置を望む。